

2. 河川整備計画の目標に関する事項

2-1. 計画対象区間及び計画対象期間

河川整備計画対象区間は、広島県知事管理区間とします。

河川整備計画対象期間は、概ね 20 年とします。

2-2. 高潮による災害の発生の防止又は軽減に関する事項

岡ノ下川において、伊勢湾台風級の来襲による異常潮位に対して浸水被害を防止します。

岡ノ下川は地形的な条件から、低平地を中心として、高潮被害を受け易く、資産や都市機能の集積度が高いため、これまで、広島に来襲した台風のうち最も大型であったルース台風や、これ以上の伊勢湾台風級が来襲しても異常高潮に対して安全に対処できるよう高潮対策として防潮水門が整備されています。整備計画では、適切な排水対策を講じることにより、水門閉鎖時においてルース台風がもたらした降雨に伴う洪水による溢水氾濫を防止します。

2-3. 河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持に関する事項

河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持に関しては、動植物の生息・生育環境、景観や親水性などの河川環境に配慮し、流水の正常な機能が維持されるよう、流域の保水機能の向上など、関係機関と連携しながら流況の改善に努めます。

2-4. 河川環境の整備と保全に関する事項

河川環境の整備と保全に関しては、水質の改善に向けて、下水道の整備や水質悪化が懸念される大規模開発への対応など、地域住民や関係機関と連携を図りながら、その対策に努める他、堆積汚泥の撤去などの対策を進めます。

また、人と川とのふれあい空間を確保するため、親水空間の整備に関係機関などと一体となっ取り組むとともに、岡ノ下川を環境学習の場として提供し、河川愛護に関する啓発、支援を行っていきます。

さらに、動植物の生息・生育環境に配慮するとともに良好な河川景観を形成するため、澗筋や瀬と淵の復元、植生に富んだ水際環境の創出など、河道内環境の多様化を地域住民との協働により進めていきます。このため、岡ノ下川に関する情報の積極的な提供に努めます。また、水源涵養などの役割を担う山林などの自然環境を保全していくために、関係機関へ働きかけを行います。